

①平成24年度に選考された政策提案

	政策提案の名称等	政策提案の概要
最優秀賞	<p>○政策提案の名称 泊まってみ奈良？ ー町屋ステイで奈良を知るー</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良県立大学</p> <p>○グループ代表者 地域創造学部1年 横田 紘大</p>	<p>私達は奈良の「素朴で落ち着いた個性」に着目し、観光客が体で感じる奈良を体験できるような取り組みとして本政策を提案したいと考える。内容としては、県が町屋を買い取り、県・大学生・地域住民・専門家並びに教員などの連携により宿泊施設化、その上で学生インターンシップの活用により、学生自身が施設運営を進め、宿泊客へ様々な観光サービスを提供することである。町屋の宿泊施設化で、今奈良に多くみられる高級旅館と格安ビジネスホテルの間に位置するような、観光客が気軽に立ち寄ることができ、かつ奈良の風情を感じられる宿泊施設の実現を目指す。</p> <p>また、学生を中心に運営するため、安価でのサービス提供の実現や、心地よい空間づくり、インターンシップの充実にもつながると考えられる。目標は、多くの観光客に奈良で宿泊してもらい、泊まってみてわかる奈良のよさを知ってもらい、奈良の個性を体で感じてもらうことである。</p> <p>また、この取り組みを通じて、地域住民同士が関わり合い、絆を再確認することを目指す。さらに、観光庁等が行う宿泊者数ランキングの上昇、町屋が立地するならまちエリアのさらなる経済効果拡大を図る。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 奈良県産材製の児童用学習机・椅子・教卓の普及</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良女子大学</p> <p>○グループ代表者 生活環境学部住環境学科4回生 笹川 祐里</p>	<p>奈良県南部の主要産業である林業と製材業の振興のために、平成20年度から奈良女子大学生生活環境学部中山研究室と桜井木材協同組合青年経営者協議会が共同で開発、製作、普及を進めている奈良県産材製児童用学習机・椅子及び、企画開発予定の教卓や木製ロッカー・下足箱などをH26年～H31年の6年間で奈良県下公立小学校に100%普及させる政策を提案します。</p> <p>県下公立小学校生徒全員分の児童用学習机・椅子を、県産材を使い県下で製作する体制を整えることは、県内における木材の地産地消システムの整備であり、県産材に毎年一定の需要を生み、林業を基幹産業とする県南部の経済・雇用に与える効果が期待できます。</p> <p>また、小学校への導入することで総合教育への応用も可能であり、小学生とその保護者たちの木材に対する愛情を育み、奈良県の主要産業の1つが林業であるという認識の向上に繋がります。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 Meet 20s' 絆 プロジェクトー20歳の若者の出会いで絆をつくる</p> <p>○在籍する大学等の名称 帝塚山大学</p> <p>○グループ代表者 経営情報学部経営情報学科3年 森崎 直人</p>	<p>大学生の視点から見た奈良の魅力を、同世代の若者がよく利用するツールで伝え、奈良に多くの若者が訪れる機会をつくる。すでに構築された熟年観光客層に加え、近隣などから奈良を訪れる若者や低年齢の子供をもつファミリーの来訪者層を構築する。コンテンツは奈良の奥深い良さを理解できるようにする。</p> <p>具体的な提案は次の5つの内容である。1. 大学生が奈良の魅力スポットのおすすめマップを作成→2. スポットに、アプリとその場所でだけ会えるアニメキャラクターを配置→3. そこでイベントを企画し、数百万人の登録者をもつ位置ゲームなどの企業と提携・発信→4. 来訪者には、そのアニメキャラクターがコンシェルジェとして説明し、奈良の奥深い良さやおもてなしの心を伝達→5. その情報が、SNSやTwitterなどを介してさらなる情報発信</p> <p>アニメキャラクターのみやアプリの成功事例はあるが、行政がゲーミフィケーションとの連携の事例はない。</p>

②平成25年度に選考された政策提案

	政策提案の名称等	政策提案の概要
最優秀賞	<p>○政策提案の名称 科学の旅－シーズンフリーのワンストップサイエンスツーリズム－</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良教育大学</p> <p>○グループ代表者 教育学部・学校教員養成課程・理数生活科学コース4回生 萩 奈津希</p>	<p>小中学校の修学旅行生を大学にワンストップさせて奈良を学ぶ「科学の旅」、つまり、教育県・奈良ならできる・奈良しかできない学びのツアーを提案する。大学の高度な専門性と学生という人財を最大限に利用して、修学旅行で来県する児童生徒にワクワクする学びの刺激を与え、「また奈良に行きたい！」と思わせる奈良を科学する旅を提供する。</p> <p>本提案では、従来にない方法と角度からの奈良の魅力を発信によって、修学旅行生と奈良ファンの増加を目指す。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 自然の恵みリスタート事業</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良女子大学</p> <p>○グループ代表者 大学院人間文化研究科博士前期課程1年住環境学専攻 濱川 真衣</p>	<p>20歳前後の女子大生の感性で、奈良県南部地域の魅力を再評価し、今まで観光資源として位置づけられていなかったものも含めて南部地域の観光資源をまとめ直す。</p> <p>埋もれている観光資源を発掘し、改善方法などを地元住民と学生とで協同して考えることで、観光資源としての顕在化を図る。</p> <p>学生の感覚で観光情報の発信方法を検討し、同世代に対して効果的な方法で南部地域の観光情報を拡散させる。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 大学生がつくる幼児のためのスポーツイベント</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良教育大学</p> <p>○グループ代表者 教育学部・保健体育専修3回生 赤木 誠五</p>	<p>現在、奈良県が抱える問題の1つとして子どもの体力不足が挙げられる。そこで本政策では、幼児が運動遊びの楽しさを体験することで運動習慣を持つようになり、将来的に熱心にスポーツに取り組み、奈良県の子どもの体力向上につなげるためのきっかけづくりを行う。</p> <p>奈良県に在住している幼児(4～6歳程度)及びその保護者を対象にし、奈良県立橿原公苑などの体育施設で、様々な種目が体験できるスポーツイベントを実施する。イベントの運営は幼児分野、体育分野、保健分野を専攻している県内大学生が中心となって行う。実施種目は幼児ができる簡単なスポーツ(ボール運動、マット運動、陸上運動など)とする。</p>

